

27回目の挑戦で念願の初優勝

vol.83

日本尺八連盟四国支部会員
横山 隆さん（雅号・横山蒼山）

（公社）日本尺八連盟主催の「全国尺八コンクール大会」独奏部門で、通算27回目の挑戦にして、念願の優勝を果たした横山さん。喜びもさることながら、「やれやれと、ほっとしました」と晴れやかな表情を浮かべます。

22歳のとき、初めて聞いた尺八の音色に心をつかまれました。すぐに指導者を探し、仕事終わりに週1回、稽古に

通い始めました。音がこもらず訓練になるからと、大好きな登山にも尺八を携帯。日々欠かすことなく、腕を磨いてきました。

昭和56年、37歳のときに四国代表を勝ち取り、同大会に初出場。じわじわと順位を上げ、平成元年には準優勝に。「次こそは優勝」と、毎年のように挑みましたが、あと一歩届きませんでした。

心が折れ、大会から遠ざかった時期も。そんなとき尺八仲間誘われ、二重奏のアンサンブル部門に出場。2年目はこれを機に、「もう一回頑張ってみよか」と奮起した横山さん。平成22年、独奏部門での挑戦を再開しました。

今年3年ぶりの開催。予選、本選とも曲の情景を表現するよう心掛けました。いつも以上に落ち着いて演奏することができ、「審査員から『涙が出るかと思った』とほめてもらって、うれしかったですね」と顔をほころばせます。



次なる目標は、市内の尺八人口を増やすこと。「未熟な点はたくさんありますが、尺八の輪を少しでも広げることができれば幸せです」と穏やかに語りました。

広告欄